

プレスリリース  
報道関係者各位

2024年8月23日  
株式会社東北用地測量社

**秋田のライフラインを守り続ける今年創業50周年の送電線保守会社  
安全・生産性向上を目的に14回目となる「安全大会」を8月9日に開催  
城東消防署による救急法講習や暑い時期の熱痙攣対策なども実施**

送電設備に関する保守業務を行う株式会社東北用地測量社(本社：秋田県秋田市、代表取締役：岸野綾子)は、第14回目となる「安全大会」を2024年8月9日(金)、秋田市のパーティーギャラリーイヤタカにて開催しました。



当社は、三代目代表取締役の岸野綾子が2011年から旗を振り、毎年、災害ゼロを目指し、安全で安心、かつ働きやすい職場環境を作ることを目的に安全大会を開催しています。

14回目を迎えた今年も、協力会社2社の方々を含め総勢24名が参加。安全講和として秋田市城東消防署からお招きした講師による救急法講習を開催、暑い時期の熱痙攣対策やアナフィラキシーショックへの対策、AEDの重要性など、救急法について広く呼びかけました。また、従業員同士の信頼関係が深まるよう一人ひとりによる自己紹介や懇親会を行い、社員同士や協力会社の方々との交流に注力しました。

参加者からは、「初めての参加だったが安全意識が高まる良い機会だと思った」「自己紹介で一人ひとりの人間味が知れてよかった」などの感想がありました。



今後は従業員や協力会社の方々だけでなく、家族や地域住民も招待するなど、社内だけではなく取り組みとなる「安全大会」を開催することも予定しております。

当社は今年で創業 50 周年という節目を迎えます。今後も林業という視点での取り組みを通じて、秋田の発展に貢献してまいります。

**【災害ゼロを達成するために、改めて緊張感を。仲間への思いやりも大切にしてほしい】**

**株式会社東北用地測量社 代表取締役 岸野綾子コメント：**



林業（送電線保守）の仕事は一瞬の気のゆるみが大きな事故につながる可能性が高いことから、従業員だけでなく協力会社の方も同じ意識で現場での仕事を行わなければならないため、定期的に関係者で確認し合い、常に緊張感のある職場を作ることが大切です。

労働災害ゼロを達成するためには、仲間を思いやり、安全最優先とした行動、危険に対して立ち止まり考えることが大切だと思っています。

#### ■株式会社東北用地測量社とは

株式会社東北用地測量社は、1974年8月に初代社長佐藤昭が東北電力（株）に勤務していた経験とつながりを生かし、地元の秋田県秋田市に創業した会社。現代表取締役の岸野綾子は三代目。架空送電新設に関わる用地業務、測量、除草工事を事業として、現在は既設送電設備に関する用地調査交渉や伐採工事などの保守業務を中心に安定した事業基盤を築いています。HP：<https://tohoku-ys.com/>

**<報道関係者お問い合わせ先>**

株式会社東北用地測量社

担当：柴田 裕子（携帯 080-9655-1739）

E-mail：[y.shibata@tohoku-ys.com](mailto:y.shibata@tohoku-ys.com) TEL：018-824-1435